

## 保体2年「バスケットボール」 O.M教諭

### 【授業の流れ】

(1) ウォーミングアップ

(2) ねらいの確認

- ① 「空間を作り出す動きを理解する」
- ② 「自分の考えを仲間に伝える」



無駄なくテキパキと準備を進める生徒

相手との間にネットのない球技（サッカー、ハンドボール等）の特徴として、以下の魅力がある。

- ① については、「自らが相手ディフェンスを引き付けて、味方に対して空間を作り出す」動きと、「味方が作った空間を生かす」動きがあること。
- ② については、自分の考えを声に出して伝える方法と、互いのレベルが上がってくると、自分の動きで味方に伝える方法（ノールックパス等）があること。



短く分かりやすい言葉で、授業のねらいと流れを共有

(3) シュート練習

- ・ドリブルシュート
- ・1ON1

ディフェンスをしっかりさせることが、ゲームで空間を生み出す動きに連動するため、ボールとゴールの間に体を入れるようにさせるのがポイント。

- ・ツーメン

パスを少し前に出し、走りながらスペースを意識させることがポイント。



4つのゴールを効率よく活用し、積極的に練習する生徒



徐々に攻撃のスピードが上がってくる

(4) 3対2の攻防ゲーム

- ・空間はどこにあるか？
- ・空間を作り出す動き？
- ・空間を生かす動き？
- ・新たに生まれる空間はどこだ？

ゲーム→話し合い活動→ゲーム



集団行動がしっかりと身に付いているため、授業全体が引き締まっている。



本時は3対2で、攻撃側に数的優位であったため、生徒は自然とスペースを上手に使っていた。スペースを本当に意識し、話し合い活動を要するのは、次時以降。

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」